

Chicagoでの研究生活

田口 昭彦

Akihiko Taguchi, M.D., Ph.D.

Postdoctoral fellow

Division of Endocrinology, Metabolism and Molecular Medicine
Feinberg School of Medicine, Northwestern University

はじめに

シカゴに来て3度目の夏を迎えました。シカゴの夏はとても短く貴重です。この時期になるとアパートのベランダからは外の気温に比例して高層ビルのバルコニーや屋外プールで日光浴をしている人を多く見かけるようになります。

私は山口大学医学部第三内科谷澤幸生教授の教室に所属していました。縁あって現在はNorthwestern大学のJoseph Bass教授の研究室に留学しています。この度、留学体験記の寄稿のご依頼をいただきました。拙い文章で恐縮ではございますが、せっかくの機会ですのでシカゴでの研究生活をご紹介させていただこうと思います。

シカゴについて

シカゴは日本から飛行機で約12時間の距離にあり、中西部では最も人口の多い都市です。広大なミシガン湖を背に歴史的建造物が競うように立ち並び、摩天楼発祥の地とされています。モネやルノワールなど印象派の作品を数多く所蔵するシカゴ美術館をはじめ、実物の潜水艦を展示するなど並外れたスケールを誇る科学産業博物館を有し、老若男女を問わず魅力的な都市であるといえます。街を歩けば、大道芸人やストリートミュージシャンが行き交う人々を魅了し、町全体が巨大なエンターテインメント施設のようなのです。スポーツに関してはシカゴは4大プロスポーツ(MLB, NFL, NBA, NHL)すべてにおいてチームを有し、スポーツバーはいつも賑やかです。

そのような魅力のあるシカゴの中でも最も華やかな場所とは通称マグニフィセントマイルと呼ばれるミシガンアベニューを中心とした一帯です。高級ブランドショップが密集しているため一般的にはショッピングで有名な一帯ではありますが、この辺の花壇では春から冬にかけて何度も花の植え替えがなされるため、季節に応じて多くの花を楽しむことができます。この色彩豊かな花街道は摩天楼の背景も加わり、休日になると多くの人がカメラを構えているのを見かけます。ちなみにここは私の通勤路でもありますので、ときに折れそうになる心を癒してくれる大事なスポットです。

Northwestern大学について

Northwestern大学のメインキャンパスはシカゴから北に20kmほど離れたエバンストンに構えています。一方、ロースクール、メディカルスクール、大学病院はシカゴのダウンタウンに位置し、私のラボも大都会のビルの一画にあります。Northwestern大学に関する豆知識をご紹介しますとすれば、Pregabalinを開発したRichard Bruce Silverman教授がおられることでしょうか(図1)。ご存じの通り、痛みを苦しむ多くの患者さんの光明となった薬です。そのような背景もあってか大学には研究者の特許出願をサポートするシステムが整備されています。私の研究分野では、当時Northwestern大学におられたJoseph Takahashi教授が哺乳類で初となる時計遺伝子(Clock)を同定しました。哺乳類での概日リズムの研究はNorthwestern大学から始まったといっても過言ではありません。